

第5回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護

日 時：令和8年1月21日（水） 9：30～10：30

場 所：会議室

出席者： 6名

駐在所巡查長	0人	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人	民生委員	0人
事業所職員（職名：管理者、GH主任、小規模リーダー）			2人

1. 報告事項：登録実績と利用状況（R7.12月現在）

現在入居者数		18名	新規入居者数		11月	1名
内 訳	男 性	4名			12月	0名
	女 性	14名	11月	1名		
	計	18名	12月	0名		
			退居者数			

※最少年齢 82歳 最高年齢 100歳 平均年齢歳 92.2歳（12月現在）

令和7年度 グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 利用一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
要介護1	9	7	7	7	7	7	7	6	6	6			
	270	188	207	214	214	210	217	180	186	156			
要介護2	7	7	7	8	7	7	7	8	8	8			
	198	217	195	199	217	196	216	214	248	248			
要介護3	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2			
	30	31	60	62	62	60	62	60	62	62			
要介護4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31			
要介護5	0	1	1	1	1	1	1	2	1	1			
	0	31	30	31	31	30	31	42	31	31			
計	18	18	18	19	18	18	18	19	18	18			
	528/540	529/558	522/540	537/558	555/558	526/540	557/558	526/540	558/558	528/558	/522	/558	
入院	12	4	15	9	3	15	1	12	8				

空室	0	29	3	12	1	0	0	8	0				
入居率	100%	95.5%	99.4%	97.8%	100%	100%	100%	98.9%	100%				
稼働率	97.8%	94.8%	96.6%	96.3%	99.46	97.4%	99.8%	97.4%	100%	94.6%			

地域別利用状況 (R7.12 現在)

波根	久手	水上	長久	大田	川合	大屋	大森	鳥井	静間	温泉津
4人	1人	1人	1人	5人	1人	1人	1人	1人	1人	2人

2、活動状況報告

- ・ 11/4 (火) ~11/6 (木) 介護労働講習現場実習
- ・ 12/25 (木) もちつき

No.35 : 役割、楽しみごとの支援

【評価基準】

張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている

→ご利用者の今までの生活習慣を施設生活に取り入れる支援にシフト中。家事炊事の他に誕生日会の開催、個々の趣味活動、季節に応じた装飾掲示などの共通活動を行っている。

No.48 : 本人が持つ力の活用

【評価基準】

本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり交流することができている

→11/8 (土) 波根町文化祭の作品出展、参加した。個別の支援として波根町通いの場への参加、市内店舗への買い物、家族と外出 (外食)、外泊などを継続している。

③ 外部評価関連

※No.12 職員を育てる取り組み 前回外部評価済

【評価基準】

代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めているか

※No.12 職員を育てる取り組み

【評価基準】 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めているか

- ・ 12/12(金)~12/26 (金) 全職員対象

手洗いシミュレーション研修 (手洗いチェッカーを用いて手洗い手順の適正化を図る)

PPEシミュレーション研修 (手指衛生から個人防護具の着用脱衣までの手順)

- ・ 12/17 (水) 救急蘇生法 3名参加
- ・ 12/19 (金) ユニ・チャーム腰痛予防のオムツの当て方 2名参加
- ・ 12/29 (月) BCP 訓練 (自然災害)

※No.25 防災対策

【評価基準】

火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている

→【火災想定避難訓練】年2回実施：7/16（水）夜間避難想定、11/19（水）日中避難訓練
今年度はより効果的な避難が行えるように本部との連携を強化することで目標避難時間（15分以内）を達成できた。

- ・内部の職員と連携がスムーズに図るようインカムを活用。
 - ・ホワイトボードを活用して避難状況を「見える化」し応援者との情報共有。
- 今後は職員の機器操作周知やマニュアルの見直しが課題。

→【BCP（自然災害）訓練】 12/29（月）実施。

事業所におけるBCPを実用的なものに更新していくために、机上訓練（マニュアル読み合わせ）にて実環境で計画に沿って動けるかを確認した。

- ・行動基準・参集基準
- ・利用者職員の安否確認・連絡方法
- ・電気ガス水道道路などのインフラ復旧の目安を踏まえ、部署における事前の備え
- ・施設内外の避難場所、避難方法 など

上記の項目において確認し、職員の災害への危機意識や被害想定イメージを深めるとともに不明な点や不備・欠落、事前の取り決めなどについて協議した。

（参加者からの意見）

- ・感染症のBCPが事業所単位で模索しながら行っているのが、施設や部会などで共有した方が良い。
- ・垂直避難方法は担架やベルカよりもハンモック型の移送用具もある。消防にも用具を相談しても良いのではないかな。

→【地域との協力や連携】

大津自治会、中浜自治会住民の方に対して、法人を避難場所として活用できることの情報発信を行った。今後も地域のニーズなども把握したうえで協力体制を築いていく。

3、その他

特になし

次回開催日：令和8年3月18日（水曜日）9：30～10：30